

## 令和5年度「学校教育自己診断」の分析結果及び考察

### ○令和5年度における質問項目の設定

経年での変化を観察するため、昨年度と同様の質問内容とした。

### ○アンケートの回答方法

保護者向けには配布したプリントを回収して集約した。生徒・教員向けはGoogleClassroomで回答しスプレッドシートで集約した。A B C Dの4段階での評価とした。

### ○アンケートの実施方法

保護者向けには10月に配布した。生徒・教員向けも10月にClassroomで実施した。

### ○回答数

	総数（回収率）	（参考）令和4年度
生徒アンケート	133（94.3%）	133（94.3%）
保護者アンケート	135（95.1%）	131（92.9%）
教員アンケート	63（100%）	67（100%）

※今年度は、昨年度より保護者の回収率が高くなった。

### ○生徒アンケートについて

肯定率の平均 87.3%（昨年度83.5% 3.8ポイント上昇）

回答 1年46 2年44 3年43 計133

昨年度より全体的な肯定率が3.8ポイント上昇した。特に「授業はわかりやすく、楽しい。」の項目が約15ポイント上昇した。昨年度70%を切っていたため、指導方法や指導内容などを精査し、生徒のニーズをより細やかに捉え、ICT機器も必要に応じて活用し、生徒にとって充実した学びになるよう授業を展開した成果だと捉えている。「学校に行くことが楽しい」「困ったことがあった時、相談に乗ってくれる友達がいる」がそれぞれ約7ポイント上昇した。特に1年で「学校に行くことが楽しい」が90%以上になっている。希望をもって入学した生徒の率直な感想であると捉えている。一方、2年では75%と低い値になっているが、昨年度は71%であったので若干ではあるが上昇している。

### ○保護者アンケートについて

肯定率の平均 83.8%（昨年度87.6% 3.8ポイント低下）

回収率は1.4ポイント上昇したが肯定率が3.8ポイント低下した。項目別で見ると「学校は1人1台端末を効果的に活用している。」が70.4%と昨年度同様、低い水準になっている。生徒に対する同様の質問の回答が昨年度より7%上昇し90%近くであったことを考えると、教育実践を適切に伝えきれていないことが分かる。これは「学校はホームページ等によりわかりやすく情報発信している」が70%程度であることから分かる。「授業参観や学校行事に参加したことがある」は90%近い回答であったので、情報の発信方法を検討していく必要がある。

○教員アンケートについて

肯定率の平均 90%（昨年度89% 1ポイント上昇）

昨年度に引き続き、回収率100%を達成できた。特に「目的に沿って研修に主体的に参加し、成就感を得ることができた」の項目が8%上昇した。支援研究部を中心に各種研修会を充実させるよう検討を進めてきた成果であると考えられる。逆に「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう工夫・改善を行っている。」が昨年度比10ポイント低下した。これは生徒や教員の負担軽減のため行事の精選を行うことと、内容を充実させ生徒にとって魅力ある行事とすることとのバランスをとることが難しいためであると推察される。